

てる以上は建物の不動産評価はあるんでないかなというふうに思いますけど、これ私、通告もしてませんが、ちょっとその辺参考までにお聞きしたいと思いますけど。わからなければわからないでいいです。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 固定資産税の状況については、ちょっと確認してきませんでしたので即答はできません。そんなことで、ちょっと税務課のほうでもその細かい部分についても把握、きょうは準備してないということでございますので、またの機会にお願いしたいと思います。

○大道寺 信委員長 12番、安部 隆委員。

○12番 安部 隆委員 ぜひ今お聞きしましたようなことで市長が答えられたような方向で、ひとつ協議の場を設けていただきたいということをお願いを申し上げまして、以上で終わりたいと思います。ありがとうございました。

### 蒲生光男委員の総括質疑

○大道寺 信委員長 次に、順位4番、議席番号9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 私の通告している項目は2点でございます。

これは、いずれも一般質問で触れさせていただきましたが、私の質問も久しぶりに32分かかりましたので、ほとんど質疑応答ができなかったということから、引き続き質疑をさせていただきたいということでございます。

まず最初に、教育長にお尋ねをいたします。

最後の時間間際に第3種公認陸上競技場としての要件には不要なのではないかということについて、午後の開会冒頭後、その発言を撤回する答弁がございました。それはそれで間違っていることですので撤回するのは当然だと思いま

すけれども、質問しているのは私でございますので、撤回前に私に対して、その答弁は間違っていたとすぐに言っていた後に撤回の手続を踏んでいただくのが私は順序なのではないかと思いました。この点について、上司である教育長のご見解をまずお伺いしたいと。

○大道寺 信委員長 加藤芳秀教育長。

○加藤芳秀教育長 不手際があったこと、冒頭におわび申し上げます。

私自身も3種公認のその理解がちょっと不足していたなというふうに思って反省しております。ルールブックで蒲生委員からご指導いただいたようなふうになっているということも私もちょっと存じ上げなくて、ただ3種公認を取得しなくともということだったわけですが、ただ、高校総体とか、そういう一般の種目、大会をするには必要だということは聞いておったんですが、それは当然ルールブックにも私はそういうふうになってるんだらうという、そういう前提でちょっと理解しておりましたので、その辺についての理解が不足していたということでそのような答弁になってしまったのは大変申しわけなかったなと思っております。

○大道寺 信委員長 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 生涯スポーツ課長にお伺いいたします。

本会議の冒頭で3種公認には障害物競走設備が必要であるというふうにお答え申し上げましたが、蒲生議員おっしゃいますように、障害物競走設備につきましては、第3種公認認定の条件としてはなくても可というふうになっております。仮に固定障害物がない状態で3種公認認定が取得できたとしても、3種公認取得により期待できる高校生以上の大会の開催が困難となってしまいます。これまで男子のみの競走でありました、女子につきましても、インターハイの競技種目として2,000メートル障害が平成26年度より新設されるようでありますので、認定

条件ではございませんけれども、大会運営上は必要な設備と捉えまして整備を進めさせていただいたものでございますというふうにあるわけですね。私は、26年度からそういうふうなことになってるなんて何度調べてもちょっとわかんなかったわけですね。これはどこの情報で何によるものでしょうか。

○大道寺 信委員長 佐藤孝博生涯スポーツ課長。

○佐藤孝博生涯スポーツ課長 お答えを申し上げます。

インターハイの開催につきましては、陸上競技協会の方に調査をさせていただいて、そのような種目が新設されるというふうなことでお答えをさせていただいたものでございます。

○大道寺 信委員長 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 ちょっとその情報の根拠をもう一度お願いします。

○大道寺 信委員長 佐藤孝博生涯スポーツ課長。

○佐藤孝博生涯スポーツ課長 長井市の陸上競技協会の会員の方に情報を求めましてお聞きしたところでございます。

○大道寺 信委員長 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 第3種公認で障害の水濠が必要だというのはどこからの情報だったんですか。

○大道寺 信委員長 佐藤孝博生涯スポーツ課長。

○佐藤孝博生涯スポーツ課長 第3種で水濠が必要だということにつきましては、先ほど教育長がお話し申し上げたように、私も認識不足で、3種公認には障害物競走の設備が必要というふうに思っておりましたので、そのようにお答えを申し上げました。ただ、間違っていたということで訂正をさせていただいたものでございます。

○大道寺 信委員長 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 3種公認に水濠が必要だという情報源と、今回の26年度からインターハイの女子2,000障害があるという情報も似た

ようなものじゃないですか。はっきりしたものじゃないですか、陸協の会員がそう言ってたということだけなんですか。それで本当にそういうふうになるんですかね。その出どころがはっきりしないまま進んでいくということはどうなのかなというふうに実は思ったんですよ。それ確かめるすべはなかったんですか。それはいかがでしょうか。

○大道寺 信委員長 佐藤孝博生涯スポーツ課長。

○佐藤孝博生涯スポーツ課長 障害物競走の設備につきましては、整備の中で進んできておりますので、その設備につきましては、3種公認という中で必要なものというふうに思い込んでいたということで、私の認識不足でございました。

○大道寺 信委員長 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 26年から女子の2,000障害があるのかないかこの場ではまだはっきりしてないわけですね。それは、一度正確に情報をつかんで、後で教えてください。今ここでいいとか悪いとか私言ってんじゃないですよ。情報源がどうなのかということをお聞きしてるわけですから。

それから、財政課長にお伺いいたします。

要は予算執行に当たりまして、今回は不要なもの、本来必要でないものを必要と勘違いして予算執行してしまったと。今回は陸上競技場の附帯設備の一部として整備されたものですから、これが全く使い物にならない不要なものとは申し上げませんが、例えば、そうではなくて本当に不要なものを整備するおそれだってあるわけですね。そのチェックってどこで入るのかなと私思ったんですよ。それは財政課長としては、そういう点についてどういうふうなご見解をお持ちですか。

○大道寺 信委員長 齋藤環樹財政課長。

○齋藤環樹財政課長 このたびの障害物というか、水濠の関係だと思うんですけども、この運動公園の施設整備その他起債とか充当いたします

ので、起債の申請とか行方書類等で確認しますと、おおむね第3種公認レベル程度の整備を行うというような説明をいただいております、水濠につきましても、その第3種レベルの水準を確保するために必要なものということでこれまで考えておりました。

第3種公認の取得を目指すんだというお話を正式にお聞きしたのは、平成26年度当初予算編成作業を開始してからでございますので、事務的に水濠が第3種公認のために必要か否かというような事務的な確認という意味では、特に財政課としては行ってはおりません。

○大道寺 信委員長 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 わかりました。水濠の整備が早かったわけですからね。

浅野課長にお伺いいたします。

プラザ運動公園は、用地費3億80万円、それに整地費1億円、これ単独で出すのはなかなか大変だというようなことで補助事業を使った事業を進めることになったわけですね。ここにその当時の整備に至った経緯ということでありましてけれども、その当時、私は、私だけじゃないと思うんですけども、大体8億5,000万円ぐらいで整備できますよというお話だったですよ。それが、浅野課長からいただいた資料で、資料が山ほどあるものですから、年次別の整備計画を計算しますと、それに土地代3億80万円を加えますと、おおむね12億8,000万円ぐらいになるんですよ、計算しますとね。何かいつの間にかそれが膨らんでしまってるなという感じがして仕方がないわけなんですけども、途中で24年度で、いわゆる湧き水対策、軟弱地盤の関係で9,600万円ほどその対策に費用を投じられておりますよね。そもそもあの土地は谷地というふうに呼ばれてる土地で、地下水が高いよという話は前から質疑の中でありましてよね。そのとき課長は大丈夫だっていうふうに太鼓判を押したんじゃないんですか。そういうこと

てそういうことが積み重なって、それから、第3種公認陸上競技場になって、何か次第にその事業費が膨らんでしまってるってということなんですね。そういうのは本当にこれでいいのかなっていうふうに私は率直に思うんです。あその土地は大丈夫だというふうに、たしか浅野課長言ってたなというふうに今思い出しているんですけども、その当時は何を根拠にして大丈夫だって言っとったんですかね。

○大道寺 信委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 お答え申し上げます。

当時、お答えした部分については、現地盤の地質からいきまして大丈夫だというふうなことをお話を申し上げたと思います。ただ、残土の中身について調査はしておりませんでしたので、その残土の部分の支持層が非常に低いと、それと軟弱だというようなことがわかりまして土壌改良の対策を講じたことになっております。以上です。

○大道寺 信委員長 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 今さらもとに戻すわけにはいかないし、まあこれは進めるしかないんでしょうけども。

我々もそうなんです、お互いがしっかりとチェックをしていかないといけないなというふうに思います。

市長にお伺いいたします。

これだけの大きい事業費になってるわけですね、学習プラザ運動公園は。これ当初説明したときと乖離があるというふうに私は思うんですけども、市長はそういうことに対してどういう見解でしょうかね。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 確かに蒲生委員おっしゃるように、土壌改良で1億円ぐらいかかったと。あとは途中で水路のつけかえとか、想定外、ある程

度は予定しておったんですが、そういったところを含めて12億円ということではちょっと大きくなったことはこれは反省しなきゃいけないと思ってます。1億円差し引きして11億円ぐらいで2億円ちょっと膨らんでしまったということだと思いますが、やはりこの間の工事費が増大したというのは、建設物価が上がったことも関係ありますし、あとは、幸いなことに補正債を使うことができたものですから、確かに事業費が膨らんだのも問題なんですけど、一方で、当初は4億円の、いわゆる整地代1億円、それから取得3億円ということで、全てこれ起債だったわけですが、しかも一般の普通の起債だったわけですが、5割の補助事業で、なおかつ補正債をその大部分を補正債を使いましたんで、そういった意味では、当初の普通の起債で4億円で、あのまま何にもしないで置いた状況と比べれば同じような経費でしっかりと施設ができたということについてはよかったと思ってます。ただ、蒲生委員おっしゃるように、工事費がふえたことについては、やはり今後十分気をつけなきゃいけませんし、その都度議会のほうには報告をしながらしっかりとご理解をいただく上で進めていかなければならないというふうに思います。

○大道寺 信委員長 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 教育長にお尋ねをいたします。教育長っていうか、生涯スポーツ課長、もしあれなら振っていただいて。

第3種公認陸上競技場、この使用の計画ですよ、まだそんなこと聞かれたってわからないよっていう話なんだろうと思います。だから、できるだけ使うようにしたいよという答弁しかないだろうなというふうに思いながら質問してるわけですが、これどういうふうに考えておられます。例えば、ハンマー投げ、棒高跳び、円盤投げ、こういった競技人口ってどの程度あるんですか、これ。そういう基礎的なこと

もわからないもので、全然雲をつかむような話で私にはわからないですよ、その点いかがでしょうか。

○大道寺 信委員長 加藤芳秀教育長。

○加藤芳秀教育長 答え申し上げます。

長井市内での競技人口って言われると、私自身もちょっと把握してるかっていうと十分ではないわけですが、ただ、3種公認を取得することで、これまではこの辺では開催できなかった置賜地区の高校総体、一番身近な大会としてはですね、それからその新人大会、そういったものをはじめとする全国予選につながる、全国の舞台につながるような高校の大会、この中には当然投てきの種目がございまして、棒高跳びなども含めて、そういった活用が図られるのかなと。あと、小学生から一般選手までが参加できるような県レベルの大会の招致であるとか、そのほかの各種競技大会についても招致できるのかなと。例えば、毎年天童のNDスタジアムで開催される県のマスターズ陸上大会であるとか、県の障害者スポーツ陸上大会など、幅広い選手が集う大会なども長井市で開催できるように取り組んでいきたいなというふうに思いますし、また、東北大学陸上選手権大会などについても招致について話題に上がっているというようなことでありますので、そういったせっかくできる3種公認の陸上競技場でありますので、利用を拡大してまいりたいというふうに思ってます。

○大道寺 信委員長 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 せいぜい利用していただけるように努力をしていただきたいという以外、今の段階ではない。また、1年ぐらいたてばどのくらい使ったかってのはわかりますから、そのときはそのときでまたお聞きいたします。

それで、養生芝について、私、本当心配してるんですね。これ浅野課長に聞いたほうがいいんですか。生涯スポーツ課長ですか。

養生芝の畑ってどこにつくるんですかね。今までそういう説明どこにもなかったと思うんですよね。それで、何枚ぐらいその養生芝の畑に芝を植えておくのか、どこにつくるのか、そこら辺はいかがでしょうか。

○大道寺 信委員長 佐藤孝博生涯スポーツ課長。

○佐藤孝博生涯スポーツ課長 お答えをいたします。

芝の養生畑ということですが、やはり天然芝のコートの場合はサッカー競技、そして、陸上競技の投てき種目によりましてかなり大きなダメージを受けることになります。その部分を砂を入れて補修するというところぐらいでは済まない状況になりますので、やはり芝を切って、傷んだところを張り芝ということに補修しなければならないだろうというふうに思っております。その養生芝のスペースにつきましては、陸上競技場の西北部分に相当の空き地があります。または、総合体育館の東側、今、水路ちょっとあるんですが、その部分のスペースがありますので、その辺におおよそ100平米程度の芝を養生しながら、傷んだ競技場の補修をしていくということで今のところは考えているところであります。

○大道寺 信委員長 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 100平米って33坪、まあ30坪ちょい、そんなんで足りるんですかね。私にはわかりません。でも、天然芝を張ってるコートの実態を見ていただいて、そして計画なされたほうがいいと思いますよ。私は自分の目で確認をしてきてから質問しようと思ったんですけど、そのいとまがなくてできなかったんですけども、30坪そこらで間に合うとは到底私には思えないですね。これはわかりません。それで間に合うって言えば、そういうふうに言われればそうかって言うしかないんですけども、後で足らなかったなんて言わないでくださいねとだけ申し上げておきます。そこら辺はちょっと考え

るべきかなと。

用具の耐用年数なんてのは、どの程度もつと思われませんか、生涯スポーツ課長。

○大道寺 信委員長 佐藤孝博生涯スポーツ課長。

○佐藤孝博生涯スポーツ課長 お答えをいたします。

用具の耐用年数につきましては、大きな破損や劣化、腐食、用機具の規格の変更等がない限りは使用できるのかなということと考えております。なお、公認継続の際に検定員による点検がありますので、その時点で規格外または数量不足になった場合は整備が必要になるということになります。また、用具だけでよろしいでしょうか。全天候型もお話ししたほうがよろしいでしょうか。全天候型のトラック、フィールドになります。これにつきましては、使用頻度によってかなりばらばらということになるかと思えますけれども、おおむね15年程度、最長で20年ぐらいで全面の改修が必要になってくるというふうなことで調べたところであります。なお、使用頻度の高い部分、特に100メートル付近、または1レーン、2レーンのあたりは大部分使用頻度が高くなりますので、公認更新時期の前に公認継続の条件を満たすように、必要に応じて部分的に舗装や塗装をする必要が出てくるということになります。

なお、参考まででございますが、天童のNDスタジアム、参考になるかどうかですけれども、施工が平成4年に、べにばな国体のときに完成いたしました。全面改修は平成19年になされております。全国の実業団の陸上等々の大会を開催するために全面を改修したということがございます。その辺が目安になるのかなというふうに思っているところであります。

○大道寺 信委員長 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 市長にお尋ねをいたします。

2つ問題がある、問題があるっていうか、解

決しなきゃいけない課題があるっていうふうに思ってるんですけども、一つは駐車場です。例えば、東北高校駅伝みたいなのがあって、長井市の分館対抗バレーボール大会みたいなのが重なりますと駐車場が圧倒的に足りないんですよ。誘導員がいて、とんでもない農道の端のほうまで誘導されるわけなんですけど、この駐車場の確保っていうのは、今、土地改良基盤整備事業が終わったんで、ちょうど南側あたりが最適だったんでしょうけども、それもすぐにはなかなかできないと思うんですけども、その駐車場の確保という問題と、それから、せっかく3種公認の陸上競技場をつくって、観客席がないっていうのが非常に見劣りするっていうふうにいるいろいろな人から言われますし、私も実際そうだなっていうふうに、あそこにごさ敷いて観戦しろってがいみたいな、そういう感じなんですけどね、ここら辺はどういうふうに考えられていますか。これからそれとも整備する計画ありますか。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

まず、駐車場でございますが、駐車場については、25年目にしてようやく今まで舗装されていない部分を全てやりました。それから、今回の多目的広場等々を整備いたしますと、一応698台の駐車場を確保することができます。これで十分かと言われると、どのぐらいを想定するかですが、あとは大会の運営方法だろうというふうに思います。県の陸上競技場のように、あの高大な土地の中でやるということは、我々到底長井市ではできませんので、そうしますと、今まで700台近い駐車場というのは、長井市始まって以来なわけですよ。ですから、もうこれ以上は無理だと思います。あとは大会運営で、例えばつつじ公園の駐車場ありますよね。あそこでさえ100台ですけども、ああいったところにとめていただいて、シャトルバスみたいにピ

ストンでやるとか、そういうふうにはせざるを得ないんだと思います。700台が準備できる部分ですから、それ以外にも協力いただければ、あの近くの、例えば飯鉢工業さんですとか、丸秀さんのところであったり、あるいは、冠婚葬祭の斎場とかももしお借りできれば、これ1,000台を超えるものができるんでしょうけども、まず基本は、私どもで700台でほぼ全て、全てではないですね、多目的広場南側の170台だけがここが舗装されてない駐車場で、それ以外は528台分は舗装された駐車場なんです。これで私は十分だと思ってますが、あとはそれ以上のものは大会運営で努力しなきゃいけないんじゃないかなというふうに思っております。

あともう一つ、観客席が貧弱だと。ごもっともであります。私も非常に見劣りして残念だなと。せめてスタンド一部あるんですが、あれ3段しかないんですよ。本当貧弱です。残念だなと。ただ、先ほど来、蒲生委員からもありましたように、これ以上のものをつくりますとどんどん工事費が上がるわけですから、やっぱりこれは我々が身の丈に合ったやつっていうのはこれなのかなと、残念ながら。

ただ、蒲生委員からもっとやれと、認めるからと言っていただければ、そういったこともできるかと思いますが、市民の皆様、あるいは議会の皆様はどうお考えになるかだと思います。当初の予算よりそれでもオーバーしてしまったと。あと、照明つけろ、何々しろと、当初予定にないものも出てまいりましたしね。ですから、そういったところはぜひ蒲生委員からもご指導いただいて、必要なものは議会も協力すると言っていたければありがたいなと思います。

○大道寺 信委員長 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 いや、こういうふうになるんですよ、結局。どこまで整備すればいいかって、一通りの要件を整えるまで整備をしないと見劣りをするということになって、結果的

に半端なものになってしまう。その結果、余り使用する人がいない、宝の持ち腐れになるっていう悪循環になっては困るなっていう思いなんですね。だから、これは議会で認めるとか認めないとか、私がいいとか悪いとかっていうことではなくて、これからの長期展望に立ったときの方針としてどういうふうを考えていくべきかっていう大きい課題ではないかと思っております。それで、この問題だけでもやってられませんか。

今回市制施行60周年ということで、この陸上競技場、いわゆる運動広場を使った記念イベントとして何か考えていらっしゃるのかなということと、昨年から長井マラソン大会が市の主催になって、市長が実行委員長におなりになっていらっしゃるわけですが、ずっと長年の夢として、公認コースを取得してそのコースの中で走らせたいというのがずっと今までの長い間に夢としてあるわけなんですね。60周年なので、節目としてその公認コースを取得するっていうのもちょうどいいタイミングなのかなというふうに私なんか思ってますし、昨年の第1回実行委員会の中では、事実そういった予算組みもしてそれを修正をしたわけですが、そういったことがございます。そういったことに対してどのように考えてるのかなと思いますけど、いかがでしょうか。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 先ほどちょっと答弁漏れがあったんですが、スタンドについては、一応メインスタンドのところは380名座れるようになってます。あとは芝生のスタンドということで約1,000名は座れますが、非常に脆弱なものだと、貧弱なものだと思います。

ご質問でございますが、プラザ運動公園の整備の工期については、平成27年の3月31日まで、26年度中ということで、全体のオープンは27年度ということになります。26年度中にどんなも

のを考えてるかということでございますが、まずは、陸上競技場のほうだけは今年度でとりあえず一部終了と。少し残ってるのももちろんあるわけでございますが、そんなことから、これからの使い方としてはいろんな使い方が考えられると思いますけれども、26年度の60周年の事業としては、市内の長井市小学校親善陸上大会ってのが9月でございますんで、それをぜひ子供たちに新しい陸上競技場で競技をさせたものだなというふうに思っております。あとは、来年度以降は、西置賜の中体連であったり、あるいは置賜の高体連として誘致できないかということで、さまざまなものの可能性を考えていきたいと思っております。

蒲生委員からありました長井マラソンについては、公認コースをとるとということについて、やはりほかの市町村にまたがらないとなかなか大変だと。そうしますと、ハーフマラソンを2回ということになりますし、あとは、東北高校駅伝とか、山形県の高校駅伝なんかですと、割と短時間に走れるので、フラワー長井線を横断することも辛うじて可能なんですけど、長井マラソンとなりますと相当時間かかりますので、そういったところも含めて検討しなきゃいけないと思います。26年度できないかということで一応検討はしたんですが、公認コースなどもハーフを2回ということではなかなかしっくり来ないと。そうしますと、飯豊町とか白鷹町に協力いただかないと公認コースっていうのはなかなかとれないのかなというふうに思ってます、今後検討して、必要だったら補正でも間に合うかと思っておりますので、この辺などは、ぜひ蒲生委員のほうからも、実行委員長ずっと続けていただいておりますので、ご指導賜りたいと思っております。

○大道寺 信委員長 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 参考までに、昨年10月3日だったか4日だったか、山形市で山形まるご

とマラソン大会っていうのがあって、ハーフ規模の大会がメインだったんですけども、私も参加してまいりました。4,000人ぐらい走ったと思うんですけども、七日町が目抜き通りを走るわけですね。私すごいなと思ってきました。ずっと応援の人たちが人の波が切れないんですよ。ほんで、馬見ヶ崎川をずっと上っていくんですけども、普通、車で走ってるときあんなどころ坂だなんて思ったことないんですけども、走ってみると意外と坂で大変だったっていう思いがありました。

後刻、市川市長とお会いする機会があったものですから、すばらしいですねっていう話をして、どのぐらいかかったんですかって言ったら、うん、1,000万円ぐらいかなっていうお話だったんです。長井マラソンは当初に20万円ということで、大分この負けてるなという感じがするわけなんですけども、勝ち負けではないんでしょうけども、せめて公認コースで付加価値をつけるということができると、それなりのものがあるんじゃないかなというふうに思っていますので、これは参考までに。

それから、11月の初めに山辺町のマラソン大会にも行ってきたんですけども、遠藤町長にそのお話をしていましたらば、やっぱり大変自信を持って、またこれからどんどん続けていくみたいなお話だったですね。ちょうどその日、天童市でもハーフマラソンがあったんですよ。ですけど、山辺町も負けず劣らずの人でした。非常にあそこのコースもいいですし、参加賞がまた、山辺町はニットの里ですので、ネックウォーマーみたいなのをもらって大変参加賞もよかったですけども、今どこの自治体でもこのマラソンブームですので、かなりあちこちでやっています。長井マラソンは老舗格なんですけども、なかなか800名程度から参加者が伸びないという悩みがあるものですから、ぜひそこのところは内谷市長のお力をお願いをしたいなというふう

に思っています。

この項で最後なんですけども、高校駅伝競走大会について、東北と山形県とあるわけですけども、これはいつまで開催が決まっているのか、教育長のほうがわかる。生涯スポーツ課長ですか。

○大道寺 信委員長 佐藤孝博生涯スポーツ課長。

○佐藤孝博生涯スポーツ課長 山形県高等学校駅伝競走大会につきましては、平成30年まで約束をしております。東北高等学校駅伝競走大会につきましては、平成29年の大会までということと約束をさせていただいております。なお、東北高校駅伝につきましては、隔年開催ということになっております。

○大道寺 信委員長 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 ぜひ今後もその大会を継続していただきたいということをお願いしておきます。

質問の2番目なんですけども、あやめ公園（運動公園）の整備について、まず、浅野課長にお尋ねをいたします。

今回、基本設計業務ということで1,035万8,000円が計上されておりますけれども、これは何と何と何で1,035万8,000円なんです。その積算の根拠。

○大道寺 信委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 基本設計業務の中身でございますが、まず現況測量とそれから本来の基本設計業務委託料というふうなことになると思います。

○大道寺 信委員長 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 それは、金額当てはめることができるんですか。1,035万8,000円。

○大道寺 信委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 手元に資料がございませんので、分解することは可能だと思いますが、見積もりについては一括の見積もり



でございますので、もし分割した金額を明示するとすれば少しお時間をいただければと思います。

○大道寺 信委員長 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 それは後でお願いします。  
今回この予算の対象は、野球場、テニスコート、市営グラウンドの3カ所ですよ。3カ所の基本設計業務ですよ。

○大道寺 信委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 お答えを申し上げます。

協議会の資料で平面図を添付させていただいてますが、平面図の中には、既に撤去してる市民プールがございますので、それを除いた野球場、テニスコート、現在の陸上競技場を含めたエリアの4.5ヘクタールになります。以上です。

○大道寺 信委員長 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 済みません。2月の28日に、浅野課長から追加資料ということいただきました。それで、例えば1ページ、この中で長井市営野球場ということで、中段に今後の課題というふうに記載ありますよね、今後の課題。これはその3カ所について、いずれも今後の課題として提起されておられるわけですけども、この今後の課題ってどこから出た、検討委員会の結果とか何かなんですか。

○大道寺 信委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 お答え申し上げます。

資料にも記載しておりますが、教育委員会で体育施設整備検討委員会が25年度に行われまして、その報告されたものを抜粋してそこに資料として記載をさせていただいたものでございます。

○大道寺 信委員長 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 これに載っていますか。

教育振興計画、載ってます。確認が足りないのかな、私の。何かちょっと見比べてみたんですけども、ちょっと、あ、わかりました。はい。わかりました、その件わかりました。

教育長にお伺いしますが、これ、長井市教育振興計画ですがね、これ案として、1月の全協で、1月21日にいただいたものです。日付が平成26年3月というふうにあるんですけども、これはどういうことなのかなというふうに思ったんですけどね。案をとったものをもう一回出すということだったのかどうか、そこら辺はいかがですか。

○大道寺 信委員長 加藤芳秀教育長。

○加藤芳秀教育長 その次の日からでしたかね、2月20日までの間パブリックコメント期間とさせていただきます。現在それを受けて校正したり、字句の修正等を行っているさなかでございます。何とか年度内には完成したいというふうに考えております。

○大道寺 信委員長 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 この関連の資料というのは、今まではこれは全協でいただきました。それから追加資料は2月28日に浅野課長からいただきました。これ以外に議員に配付されたものってございますか。

○大道寺 信委員長 加藤芳秀教育長。

○加藤芳秀教育長 済みません、定かでないのですが、実は生涯スポーツ課のほうで教育振興計画の最後のほうにつけたスポーツ関連の施設、それからスポーツ振興計画の部分ですね。それについて、実は教育振興計画に後のほうに入れ込むような形になってるわけです。ただ、こちらが実は早くに出ていたということがあって、ちょっと今、そこが記憶が定かでないのですが、前にもしかすると渡していたことがあったのかもしれないんですが、蒲生委員に届いてなかったということであれば、大変申しわけなかったなというふうに思います。済みません、定かでない

です。

○大道寺 信委員長 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 私はこれとこれしかもらってないですよ。もしあるとするならば、文教委員会の協議会で何か資料が出たのかなというふうに思ったんですけども、もらってないということです。ですと、この1,035万8,000円というふうに今回出てきたわけなんですけど、この一般質問のやり直しみたいになるんですけどね、この予算措置される前に、この事業の基本構想みたいなものを説明があつてしかるべきじゃないのかなというふうに思うんですけど、そこら辺は、どっちが、市長のほうからですか。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 このたびの体育スポーツ施設の整備については、まち・住まい整備課が主管課の国土交通省の都市公園長寿命化計画というものをまず2年間の調査事業を行いまして、どういう課題があるかということをもまず2年間させていただきました。これを受けると長寿命化事業ができるということでもあります。それで、課題を調査したということで全体構想っていうのはありません。これからどうするかと、ただ、必要だと考えられるのは、その野球場であったり、テニスコートであったりそういった施設だということで、それらについて市民の皆様から意見はいただいておりますが、委員におろしてないものですから、具体的な基本計画を立てるといふ概算での設計予算だと私は理解しております。したがって、最初からこうしたらいいなだつていふようなことはないです。私も言っておりませんし、ただ、いろいろ要望があつて、野球場はもう少し公認の少年野球できるようにしたらいんじゃないかとか、ソフトボールの公式試合できるようにしたらいんじゃないかとかそういうのはありますけども、初めに計画ありきではございませんので、そこだけは誤解のないようお願いしたいと思います。

○大道寺 信委員長 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 そうしますと、この事業予算にまつわる資料っていうのはこの2点しかない。

公園施設長寿命化計画の策定、いや、私もネットで調べたんですけども、39ページにそういうのがあったものですから、これどういうのかなつて。この公園長寿命化計画ってのは策定されたんですか。

○大道寺 信委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 お答え申し上げます。

平成24年度に都市公園長寿命化計画調査業務委託を行いまして、結局老朽化の頻度を調査したところでありまして、その結果報告については、25年の8月の協議会時に資料として配付させていただいたと思つてるんですが、渡つてないんでしょうか。

○大道寺 信委員長 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 私ももらったんでしょうね。

(「もらった」の声あり)

○9番 蒲生光男委員 うん。そこには、この例えば、今回のあやめ公園、都市公園の長寿命化ですから、あやめ公園だけじゃなくて、松ヶ池だとか、そういったところも対象にして調査されたということでしょうね。

○大道寺 信委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 お答え申し上げます。

都市公園については、全て調査を行いました。それで配付させてもらった資料は、あやめ公園と松ヶ池公園の2カ所分を配付させていただいたところがございます。

○大道寺 信委員長 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 そこには、今回のいわゆ

る野球場、それから多目的広場、グラウンドです  
ね、それからテニスコート、ここは入ってない  
んですか。入ってそこでどうしたいというよ  
うな概念図みたいな、イメージ図みたいなは  
出てないんですか。

○**大道寺 信委員長** 浅野敏明まち・住まい整備  
課長。

○**浅野敏明まち・住まい整備課長** このたびの調  
査は現況の調査がメインでございます。それで  
10年のスパンで長寿命化するにはどういった改  
修が必要かと。ですから、老朽化の頻度が激し  
いものについては、ABCとありまして、改修、  
改善等が早急に必要部分か、それともある程  
度置いてからでもいい部分というような、そう  
いったあらし方で各施設の調査を行ったとこ  
ろでございます。

○**大道寺 信委員長** 9番、蒲生光男委員。

○**9番 蒲生光男委員** ここに、これは39ページ  
からの抜粋なんですけども、長寿命化計画策定  
手順について示すとありまして、長寿命化計画  
には、都市公園整備状況等の基礎的事項のほか、  
地方公共団体等における公園施設の維持管理に  
関する基本方針、公園ごとに整理した長寿命化  
対策を行う。施設及び年次計画の一覧。公園施  
設ごとに整理した維持保全や補修の内容、年度  
ごとの対策内容の一覧を整理、記載するという  
ふうにあるわけですね。公園施設の維持管理に  
関する基本方針については、公園施設の長寿命  
化のための基本方針と、それから日常的な維持、  
保全に関する基本方針について整理を行う。で  
すから、こういった整理をなさいとここでう  
たってるわけですよ。公園施設の長寿命化対策  
の検討は、予防保全型管理を行う。候補に分類  
した施設について、予防保全型管理を行う場合  
と事後保全型管理を行う場合のライフサイクル  
コストの比較を行うことが中心となる。具体的  
には、だからこういうふうにとりまとめなさい  
というのは、この後の記述ですが、具体的には、

健全度調査、判定の結果を踏まえ、施設ごとに  
長寿命化対策を行う場合の時期や対策内容を設  
定する。その上で予防保全管理、事後保全管理  
それぞれに要する費用、使用見込み期間を用い  
て、単年度当たり、ライフサイクルコストの額  
をそれぞれ算出してというふうにあるんですけ  
ども、これに基づいて算出された資料が平成24  
年9月にまとまって、いや、そこから着手して  
25年にもらったっていうんですか。もう一度。

○**大道寺 信委員長** 浅野敏明まち・住まい整備  
課長。

○**浅野敏明まち・住まい整備課長** お答え申し上  
げます。

今、ただいま詳しく説明いただきました中身  
の資料を配付させていただきました。ちょうど  
10年間のスケジュールで、いつの時点でその修  
繕もしくは改修をしなければならないかとい  
うのは、表は添付してるはずでございます。

○**大道寺 信委員長** 9番、蒲生光男委員。

○**9番 蒲生光男委員** そうしますと、繰り返し  
になりますが、その報告書には、例えばこの野  
球場だとか、あやめ公園をこのように改修した  
いと、10年間の間はですね。そうするとどのぐ  
らいかかる、松ヶ池についてはこうだと。ある  
いは野球場、テニスコート、それから多目的広  
場についてはこうだと、それぞれおおむねこう  
いう計画でいきたいというふうにたたき台のた  
たき台みたいなものかもしれませんが、そうい  
う構想はあるということですね。

○**大道寺 信委員長** 浅野敏明まち・住まい整備  
課長。

○**浅野敏明まち・住まい整備課長** 老朽化の激し  
い施設については、当然改修、改善を行うわけ  
です、それは一般的な工事費として計上を  
しておりまして、実際はグレードをどうするか  
とか、配置をどうするかというふうな計画は全  
くされておられません。以上です。

○**大道寺 信委員長** 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 たたき台といえども、このぐらいは要するであろう数字は入ってるんでしょう。入ってないんですか。

○大道寺 信委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 10年間の表には標準の事業費が記載されております。以上です。

○大道寺 信委員長 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 それには、大体の完成後のイメージ図も入ってますか。

○大道寺 信委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 先ほど申しましたように、配置とかグレードは全く検討しておりませんので、そういった図面等はございません。以上です。

○大道寺 信委員長 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 イメージ図はないと、金額はあるということですね。

市長にお伺いしますけども、要は観光交流センターのときもイメージ図はありましたよね。きれいにカラー刷りにしてもらったやつ。ああいうものが私はあってしかるべきなのかなというふうに思ってお聞きしたんですよ。でも、浅野課長の答弁だとない。ただ、数字はあるんだということなんですけども、やっぱりそういうものが一つのこの基本構想っていうふうになるんじゃないんでしょうかね、方針とか。構想がないっていうのが私は違うんじゃないかなというふうに思うんですけど、いかがですか。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 調査でありますから、標準の工事額っていうので上げてるのかもしれませんが、全く個人的な意向とか、いろんな意見を聞いて構想をまとめたなんてことはしてはるはずがありません。調査事業ですから。したがって、観光交流センターの場合は、観光交流センター

をつくるということでの、あの当時、国土交通省のソフト事業の認定をいただいて400万円か500万円ぐらいでつくったのが交流センターの計画なんですよ。ですから、あのときは簡単なイメージ図、スケッチ、それはありましたけども、今回の場合は全くそういうものはないと思います。誰かつくってるのかどうかは知りませんが、私は自分の意向も言ったことありませんし、あやめ公園もしなきゃいけないねと、あるいは、あやめ公園の中のあやめ会館も整備しなきゃいけないんじゃないとか、そういう話はしましたけども、こういうイメージでこうするんだ、ああするんだなんていうことはしてないです。

ですから、基本設計を今回つくんなきゃいけないだろうということで、これは基本となるものは市民の皆さんがいろいろ意見出していただいたものをたたき台として、まずは基本設計をつくと、それは基本設計ですから単なる青写真ですから、それを今度具体的にたたいて、最終的には実施設計までもう一段階する場合もあるかもしれませんが、そういうふうにしてやるということ、構想がしっかりとしたものがあるわけではありません。

○大道寺 信委員長 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 私どもも企業にいるときに方針管理というのをやってきまして、例えば社長方針がどんと出ます、各部で部長がそれを受けて展開するわけですね。それで課の方針が出ます。そういうふうにならんと展開していくんですよ。だから、方針というか、大きい構想があって、それを順次展開していくっていう形になってるのが一般的だと思いますね。ですので、構想があってその下に基本構想があって基本設計っていうふうに落ちていくのが普通じゃないかと。だから、ちょっとイメージとしては、こういう大きい三角形があって、これを3つに割ります。そうすると、一番小さいところは

「か」ですよ。この次の2番目の三角は「かた」です。全体は「かたち(形)」です。だから下に行くほどその全体像がはっきりわかると、これがいわゆる方針展開のイメージだと思うんですね。だから、基本構想、基本方針がなくて、基本設計にすぐ行く、基本設計をして基本構想をまとめるっていうのは、全く流れが逆だというふうに私思うんですよね。それはどうですか。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 蒲生委員のように私は民間の経験しっかりとしたものはないんですが、民間では大体そうだと思います。ただ、今回の事業は新たなものをつくるんじゃないんですよ。そこをぜひご理解いただきたい。今ある都市公園を長寿命化する、リニューアルするという計画なんです。その際に何をするかと、あと例えば野球場だったら、考え方いろいろあるわけです、市民の。議会の皆さんもあるでしょう。それを構想といってもね、何もスケッチ描いたものあるかもしれませんけども、そんなもの何の、単なる青写真のたたき台のたたき台ですよ。構想なんつったって、あやめ公園をちょっと改修しなきゃいけないだろうと、もう少し今風のものにしようとか、あやめ会館老朽化してるからちょっと今までと違うあやめ会館にしようとか、そういうイメージのものであって、そりゃあ確かに、蒲生委員おっしゃるように、民間でそういうことをされるのが一般的だと思います。しかし、これは長寿命化っていう補助事業のステップの中で進めていますので、これは民間とはちょっと違うんだということをご理解いただきたいと思います。

○大道寺 信委員長 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 全体を示すもの、指し示すものがなくていきなり予算というのは私はないというふうに思います。それは、平成24年3月に観光交流センターのときの修正案が全会一致で可決したわけですが、事業の概要が示され

なければ、その可否の判断ができないっていう、そのときの提案理由でしたよね、それと何ら変わってないんじゃないかなというふうに私思うんです。何をどうしたいかぐらい説明していただかないとちょっと判断できないっていうのが率直なところなんです。だって、テニスコートを8面にするわけでしょう。屋根つきにしたって書いてますよね。どれぐらいかかるんですか、あれ。

○大道寺 信委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 お答え申し上げます。

基本設計の中身について、追加資料でご説明しておると思うんですが、たたき台としては、教育委員会でまとめました体育施設整備計画の報告書の内容をたたき台として基本設計をまとめていくということになると思いますので、そのベースの部分については、報告書の中身だというふうに理解しております。以上です。

○大道寺 信委員長 9番、蒲生光男委員。

○9番 蒲生光男委員 時間もありませんからですが、ぜひこの案件については、私、頭悪いのかもしれませんが、私を理解させるに足る資料をそろえて説明をいただきたいというふうに思います。何をベースにして判断すればいいかわからないですよ。どのぐらいの事業になるのかもわかりませんしね、それを認めれば、あと行くわけでしょう。この1,035万8,000円がペアになってもいいんだっていうことではないわけですよ。そうでしょう。そういう性格のものだとすれば、そんなに簡単にイエス、ノーなんていうふうにはならない。やっぱりちゃんと構想を示していただいて、その上でどうだと、議会どうだ、判断しろと言ってもらわないと私は到底判断できないというふうに思います。以上、質問を終わります。

## 散 会

○大道寺 信委員長 本日はこれをもって散会いたします。

再開は17日午前10時といたします。ご協力ありがとうございました。

午後 4時49分 散会